

研究室配属説明会資料 (2016. 2. 3)

地球科学科 (受け入れ可能人数 : 計 32 名)

教員名	人数	課題研究のテーマ・内容など	超過時の選抜方法
鈴木 茂之	3	1. 層相解析とそれによる古環境復元 2. 劈開組織と褶曲構造, 断層に関わる地質構造など 地質調査法実習を履修していること。また, 野外調査が課題研究の主体であるので, 何十日各自フィールドに出る必要がある。	地質図学実験, 地球発達史, 地殻変動論の成績による
中村 大輔	2	・ボヘミア山塊の超高温・超高压変成岩の岩石学的研究 ・中国山東半島の超高压変成岩の岩石学的研究 など	変成論の成績と面接による。
野坂 俊夫	2	1. 海洋リソスフェアにおける水-岩石相互作用 2. マントルかんらん岩の変成作用 3. オフィオライトの起源とテクトニクス (具体的な研究テーマは配属後に本人と相談して決める)	岩石学関係の授業の成績と面接
山川 純次	2	1. X線回折法を用いた鉱物の結晶構造の研究 2. 計算機シミュレーション法を用いた鉱物の物性の研究 3. 空間統計学を用いた地球科学情報処理法の研究	面接と成績を参考にする。
竹中 博士	3	1. 地震観測に係る研究 (微動観測等) 2. 波形データ解析に係る研究 (震源過程, 地下構造解析, 信号処理等) 3. 数値シミュレーションに係る研究 (地震波動・津波等, 計算手法・応用・可視化処理等) (具体的な研究テーマは配属後に本人と相談して決める。)	面接または成績を参考にする。
浦川 啓	2	惑星の内部構造の形成と進化に関する実験的研究 高温高压力下における惑星物質の実験的研究 具体的なテーマは配属後相談して決める	面接による。 希望者は事前に相談に来ること。
隈元 崇	2	1. デジタル標高モデルを用いた地形変化シミュレーションの研究 2. 活断層データを用いた地震危険度評価の研究 3. 地震活動データを用いた地震危険度評価の研究	地形学, 地球統計学, 測量・地理情報学実習, 地球科学巡検 A の成績の合計
千葉 仁	2	1. 海底熱水系の地球科学 (流体包有物, 安定同位体, 鉱物学的記載) 2. 降水中の汚染物質・大気降下物の起源についての地球化学的研究 具体的な研究テーマは配属後に本人と相談して決める。	地球化学関連の講義・実験の履修状況 + 成績と面接による。
山下 勝行	2	1. 太陽系の起源と進化に関する宇宙化学的研究 2. 地球化学的手法を用いた地球史の解析 3. 微量元素・同位体を使った環境科学研究	面接による (希望者は事前に相談に来ること)
岡野 修	2	1. 島弧マグマの起源・成因に関する地球化学的研究 2. 地中熱利用のための岡山市周辺地下水系の地球化学的水理解析 具体的な研究テーマは配属後に本人と相談して決める。	面接と成績
井上 麻夕里	2	1. サンゴ骨格や海底堆積物試料を用いた古気候・古環境復元に関する研究 2. サンゴや貝類などの炭酸塩生物の生物鉱化作用 (バイオミネラライゼーション) に関する研究 具体的な研究テーマは配属後に本人と相談して決める。	面接による。 希望者は事前にメールにて相談すること。
野沢 徹	3	気象・気候システム変動・変化のメカニズム解明に関する解析的研究 直接/遠隔観測データ, 客観解析データ, 気候モデルによる数値シミュレーション結果などを, 大気・海洋の支配方程式に基づいて数値解析していく (具体的な研究テーマは配属後に相談して決定する)	気象関連の講義・実験の履修状況・成績と面接。希望者は必ず事前に相談に来ること。
はしもと じょーじ	3	地球を含む惑星や太陽系の研究。 1. 探査機・地上望遠鏡を用いた観測的研究 2. 地球型惑星の形成や進化に関する理論的研究 (具体的なテーマは配属後に相談して決める)	面接 (希望者は必ず事前に相談に来ること)
青木 輝夫	2	雪氷圏における地球温暖化の影響に関する研究 1. 雪氷面の熱収支, 放射過程に関する観測的研究, プロセスモデル研究 2. グリーンランド氷床表面融解に関する観測データ解析, 衛星リモートセンシングによる研究 (具体的な研究テーマは配属後に相談して決定する)	面接による。希望者は事前にメールにて相談すること。連絡先: teaoki@mri-jma.go.jp